

信仰声明



日本 C E F

(日本児童福音伝道協会)

日本 C E F（日本児童福音伝道協会）

信仰声明

この信仰声明は、中央委員、推薦委員、スタッフ、各ローカル委員（コーディネーター）、GNC（グッド・ニュース・クラブ）の教師、児童伝道学院学生によって署名される。

われらは、次の事を信じる。

1. 「聖書はすべて、神の靈感によるものである。」

とのみことばによって、聖書と呼ばれる書全体を理解する。聖書は原典において誤りがなく、その教えと権威は絶対、至高、究極的なもので、神に選ばれた聖なる人々が聖霊に導かれて、記したものである。

Ⅱ ペテロ 1:21、Ⅱ テモテ 3:16、申命記 4:2

2. 神は、父と子と聖霊の3人格において、永遠に存在しておられる。

これら三位は唯一なる神にして、同じ本性、属性、完全性を持っておられる。

マタイ 28:19、ローマ 1:20、申命記 4:35、ヨハネ 17:5

3. 聖霊により処女マリヤより生まれた主イエス・キリストは、人性および神性を持ち、真の神であり、真の人間である。

ヨハネ 1:1, 14, 10:30、ピリピ 2:5-7、マタイ 1:20、ルカ 1:30, 31、I テモテ 3:16、コロサイ 1:19

4. すべての真実な礼拝および奉仕の本源であり力である聖霊は、人格、神性を持ち、誤りなき神のみことば、聖書の誤りなき解釈者であり、真の信者ひとりひとりの心の中に住み、常にともにおられ、キリストを証し、キリストの御業を行なわせ、私たち自身や自分の経験が王座を占めず、キリストが私たち自身を占有することを求められる。

ヨハネ 15:26, 16:13, 14、ローマ 8:9, 26, 27、I コリント 2:12, 14, 3:16, 12:13、使徒 1:8, 5:3, 4

5. 神のみことばに宣べられているように、人は神のかたちに似せて創造されたが、全人類は、第一のアダムが罪を犯したために墮落した。

人類の道德性は、墮落によってそこなわれたのみならず、人類は靈的いのちをすべて失い、罪過と罪の中に死に、悪魔に服するものとなった。

「なぜなら、肉の思いは神に敵対するからです。それは神の律法に従いません。いや、従うことができないのです。肉のうちにある者は神を喜ばせることができません。」（ローマ 8:7, 8）

それゆえに、人は聖霊により、再び生まれるまで、神の国を見ることもできず、入ることもできない。いかに改革の程度が偉大であり、いかに道徳的に高い所に達し、いかに文化が魅力的であり、いかに人道主義的、博愛主義的な計画や団体が有用であり、いかにバプテスマや儀式が執行されようが、それらのものは、罪人が天国へ行くに際し、一步の助けとさえもなりえない。上より与えられた新しい性質、みことばを通して聖霊により、植えつけられた新しいいのちが救いには絶対に必要である。

ヨハネ 3:3, 6, 7、テトス 3:5、エペソ 2:1-3、
ローマ5:12、創世記 1:26, 27

6. イエス・キリストは、神の御前に罪人の代わりとなり、全世界の罪のための宥めの犠牲とられた。

キリストは罪人のために呪われ、聖書に従ってその罪のために死なれた。いかなる悔い改め、感情、信仰、良き決意、誠実な努力、教会の規定への服従といえども、高貴な血の価値や、すべての人のために死を味わわれた方によって、

われらのためになし終えられた御業の功績にいささかも加えることはできない。

ローマ 3:25, 5:8、ガラテヤ 3:13、Iヨハネ 2:2
コロサイ 1:13, 14, 20, 21、ヘブル 2:9、
ローマ 4:4,5

7. 十字架につけられたイエス・キリストのからだの復活。

キリストのからだは、聖書の示すとおりに死よりよみがえり、天に昇り、信者の大祭司、弁護者として神の右に座しておられる。

エペソ 4:10、ルカ 24:39、使徒 1:10, 11、
ヘブル 1:3、Iヨハネ 2:1

8. 死と復活によって得た、満ちたりた祝福の中のキリストは、信仰によってのみ受けられる。

私たちはキリストを救い主として信ずると、直ちに死より永遠のいのちに移り、義とされ、キリストが受け入れられたように、父なる神の御前に受け入れられ、キリストが愛されるごとく愛され、キリストと一つにされるのである。キリストを救い主として受けた時、キリストは来たりて信者の中に住み、信者を通して聖なる力ある生活を成してくださる。

ローマ 3:28, 4:3, 23-25、使徒 1:8、ヘブル 9:15、
ヨハネ 5:24, 17:23、エペソ 1:3、
ガラテヤ 2:20, 4:6, 7, 5:16

9. 教会は、主イエス・キリストを救い主として信じるすべての人々によって成り立っている。

それはキリストのからだであり、花嫁である。ユダヤ人であれ、異邦人であれ、すべての信者は、聖霊によってキリストのからだにつながるバプテスマを受け、互いに肢体となり、あらゆる分派的な偏見を超越し、清い心をもって互いにあつく愛し、平和のきずなの中に聖霊の一致を守っていく責任を持つ。

エペソ 1:22, 23, 2:19-22, 4:3-6, 5:32、
I コリント1:10-13, 12:22-27、ローマ 12:4, 5、
ピリピ 2:1-5、ガラテヤ 5:13-15

10. われら主イエス・キリストを信じるすべての信者は、世的な罪深い行ないより分離した生活に招き入れられている。

他人をつまづかせたり、キリストの十字架にそしりを招くような娯楽や習慣を避けるべきである。信者は、キリスト・イエスにあって、良い行ないをするように創造されているのである。

「ですから、私たちは機会があるうちに、すべての人に、特に信仰の家族に善を行ないましょう。」(ガラテヤ 6:10)

ローマ 13:14, 14:13、 I コリント 10:31、
I ヨハネ2:15, 16、エペソ 2:10

1 1. 世界宣教

この時代における神の民の至高の使命は、すべての造られたものに福音を宣教することである。子どもに対する福音伝道も同時に強調されるべきである。

マルコ 16:15、マタイ 18:14、II コリント 5:18, 19

1 2. われらの主にして救い主なるイエス・キリスト御自身の再臨を待ち望むこと。

イエス・キリストの再臨は、われらの「祝福に満ちた望み」であり、われらは絶えず、これを待ち望むべきである。「しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。」(ピリピ 3:20)

ヨハネ 14:1-3、使徒 1:11、I テサロニケ 4:16,
17、ピリピ 3:20, 21、テトス 2:13

1 3. 救われるべく主イエス・キリストを信じた人々の魂は、死に際して、直ちに主の御前に移る。

そしてその魂は、意識を持って無上の祝福の中にとどまり、再臨の時、からだは復活し、新しいからだをまとして栄光の中に永遠に主と共にある。

ピリピ 1:23、Ⅱコリント 5:8、Ⅰテサロニケ 4:15-18、ルカ 16:22, 25, 23:43

- 1 4. 失われた人の魂は、死後、大いなる白き御座の最後の審判まで悲惨の中にとどまり、復活の時、「主の御前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びという刑罰」(Ⅱテサロニケ 1:8, 9) を受けるために第二の死である「火の池」に投げ入れられる。

ヘブル 9:27、ルカ 16:22, 23, 27, 28、黙示録 20:5, 11-15、Ⅱテサロニケ 1:7-9

- 1 5. 悪魔の实在と人格。

「悪魔とかサタンとか呼ばれる者、全世界を惑わす、あの古い蛇」が存在する。(黙示録 12:9)

黙示録 20:10、Ⅰペテロ 5:8、エペソ 6:11, 12



日本 CEF（日本児童福音伝道協会）

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL. 0299-28-2031 FAX. 0299-28-2028

E-Mail: japancef@cef.or.jp

ホームページ: <https://www.cefjapan.com/>



日本CEF